挨拶する

(1974年) 対しまる主発性の行指する。 「安全は一部を制力した。 地域では、大きな大きな大きな大きな大きな大きない。 を制力した大きな大きないる。 を対して、大きな大きないる。 を対して、大きな大きないる。 は、日本の大きないる。 は、日本の大きないるないる。 は、日本の大きないるないる。 は、日本の大きないる。 は、日本の大きないる。 は、日本の大きないる。 は、日本の大きないる。 は、日

十九日午前十時

一、教授中の前年長著文學部州本 文三郎教授天皇を記る ・ 意味育男 こくなっ

大學生の

見たる思想國難

法學部 佐 伯

Ŧ

本學商長近法に難し、京都府知事

御大典記念學生論文

送迎會は明日 知事市長ら主催の

正午京都ホテルで

氏葉千

獨佛の現狀を語る 朝

談

司法科《必須》遊法、民

哲學 開かれる出である、これは本學

しては、從水にその例をみない能

〇四五番である 信然本能器技管の新設配話は上 田中助教授

氏川谷長

小路近常にる總技官舎に移転した 航域就總長は、去る七日吉田萬里 新總長官舎入り 高等試驗令改正

必須科目がへり選擇増す

日十三る來

清印||大每學藝部長千葉 龜雄氏

本紙百號を迎へて

受験料も五圓値上

心總長送迎會 十九日都ホテルで

を補め各部完成、数接等がお供を一管出は同研完成は位、脳神蔵数接

郷摩部長等は満日其の下級分を行

でせしやに関れ、形はる。 顔に本

幸あらせられ、同研究所の

本學理學部臨海研究所可

一、行幸遊ばさる 五月下旬、大阪行幸の御みぎり 御視察で實物御採集を

於て實物の御採集を信はの趣節に憤怒されてある。 於て實物の御採集を信はの趣節に憤怒されてある。 が明めて襲御、近海に ることになつてあるので財子総数 大阪の御親閲式に 本學學生も参加

兩三日中に確定する

である。氏はにこやかない調で左 郷中ベルリン状態に終て取らロー段して去る三月壁朝した、氏は器 一十二日蓮宗郷一號を以て翻表さ 噂は遂に實を結び 授業料値上さる かう値上をされては一

第二回 九月 金四十國 二十國トシ左ノ三回ニ分チテ之 第十八條 授祭料ハ一學年会百 第一八條ラ左ノ通リ改正ス

| 松値上部形に除る部間の正に表別 | 一條三項ニ鉄省スル者ノ授業料 | 大きりには、部間の正に表別 | 一條三項ニ鉄省スル者ノ授業料 | 1892に | 1992年 學士になるのも難かしい!

ならなかつた振嶽が眠今帰跡にあ 及教別のないことで、館上せれば

お婆するに獨逸にしろ佛國にし の確設も完全に整備されてゐる

(春!!春!!夢見る乙女の瞳の如き春!!)

任助激授、理趣部動務ヲ命ス

任助激授、階學部副務ヲ

ライス スポート 神

任助教授、文學部尚務ラ命ス

紅素

斯學の權威を集めた 日本心理學大會 本學で華々しく開かる | 放航になった事は事はれない。

がため、釈迦野郎の総鬼、現代中がため、釈迦県に継まんとするものである。 理學部報酬ヲ爆託ス(天體觀測第 | 上島 | 昇 | 學內辭令

の (社会政権) (社会政権

記念大講演會開催

歌としての郷一人者たる予樂総群 座標部長であり殊に歴生戦闘闘死 長谷川蔵次郎氏と現大阪保田統職 新聞 かくに引き、自然と (東京 日本) (東京 日本

京都帝國大學

五人の新博士

数化で分らなきや力つくで理論も用るられる様に以上の平が阿片吸飲の絶滅には階級の

◆工學部本野教授夫人三月二十日 進去 質名四数授三月十九日薨去

◆工學部并上助教授四月十二日加

發兌

南東 神京 保神

圆即田

石波書店

理學部の三様士の中、昨中宗教氏コースの研究」である 解否請及アンチモンの機結晶の推 二年太學本等、太學工能化學数數 輸文題目は「ヴィス 大学

◇カント著作集既刊書。プロレゴーメナー、近0×道 徳 哲 郷!、○○ 大師はなくることないには清けまれ以上、思考の単なる課題がは大人によっても
大部式を持ち、対しるなが、対しておければ大力。 またこれは様々のはつかまた。
大部式を持ち、対しるなが、対しておけばなから、等していればない。
大部式を持ち、対しななが、対しななが、またが、またが、またが、この語彙を
大部式を持ち、この音があり、中の情報をつめるに様々的につかなってるるのは
大部式を持ち、この音があり、中の情報をつめるには様々的につながってるるのは
大部式を対しています。
大部式を対しています。
大部式を対しています。
大部式を対しています。
大部式を対しませない。
大部式を対しています。
大部 3實獎理性批判 二八〇 素より行ふまでもない。ことに最も正確な語文を得たのを我々は言いる。 著作集 10 7道德哲學原論 八〇 11自然哲學原理!!、※

田邊 重一二四年(カント著作集10)

439

ヴィスコースの富久氏など 土地總有史論の石田氏や

讀者

農業經濟研 農業經濟學會編輯(第五卷第一號)

内山雄二郎 戦場に放ける幾個に就いて 特 被 郷 犯罪地理に関する考察 入 谷 智 定 「前兆」の心理的起源性に関いる考察 の心理的起源性に関いる考察 の心理的必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の必要の心である。

讀者 募集

學

順 送替大紀)

日本心理學會編輯公四卷第

▲ (東洋經濟學业) 田島 で (東洋經濟學业) 田島

田島紹治

震衆水利學) 大枝 益賢耿単高農教授

再刊號

(四月號) 定價五十錢送料四錢 / 解稅增大與共但上前金 生年分三國。一年分六回

教授 佐々木惣一

たが、見つよき一週間位置に

教早稲田大學

淺見

登

郞 策綱

著(最新

會政

領

設定 料價 十一八 錢圖

新入學生諸賢は勿論在學生

各位が三年間に此完備せる

デバートメントストアーを

御利用下さる事に依つて

例年で變りない

卒業生の就職狀態

娑婆の風はやはり法經文 ころ不明である。

新事業 影中の事業は解剖

と すると文月波演者林では自動車道 (場外部の本年度新事家と目する) 他學部原生諸君をも敬迎 十名位) 他學部原生諸君をも敬迎

常楽くだらう。其の他各科は大抵 常楽くだらう。其の他各科は大抵 政 響器をつけた モダン教室 法経第一数室の新装

順に迷ふ奢多し、あゝ春らんまん

です、霧壁の上には

くれるば、尿の中で融業が

法學士

新明正道著

形

式

社

會學

論

没定 料個企企

·1·표

吉田一

町 は

吾が京都の誇である學問の中心

萬朶の櫻咲き誇るこの時節に

學問の編奥を極めんごして

民地に於けるに

京都参四條

最高學府へ御入學せられ 御多幸ならん事を 御祈り申上ます。

丸

大丸は現代文化生活の源泉 の百貨店

東京市政調查會雜誌四月號】羅讀

閣

世界文學と無產階級(新刊) :000 藝術社會學近刊 文

清

瀨

郎著

改

新刊

書

据替東京 六五五六

松堂書店

検束者相次ぐ 6111が本年中に完成する。尚、農園

法學博士入江眞太郎著(最新 山口弘一著

文學部長更迭 (三月三十日付本學文學部長の更迭) 数 授 滌井配治郎

經濟學博士 永 井

亨著

刊

选定额 類 判 十 夢 圖 五 八 表 数 数

信託法原論

刊

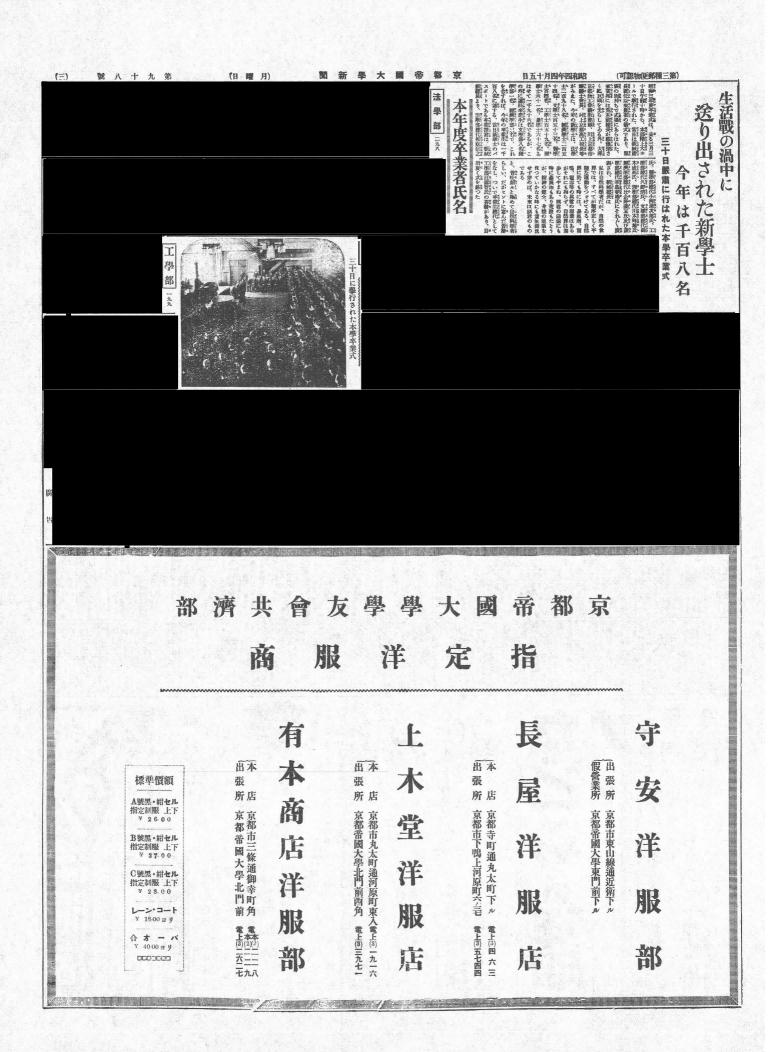
本族は斯學の習俗、山口岬土が務併を撰まれたる秀作にして、最に上帝の刊行あり。 个は下帝の 成と強されたり。 110日本國際私法論 (上卷) 遊響 金金十八级

定價臺圖五拾以

一菊八判四载

级定额 有数 有数 有数 有数 有数 有数 有数 十二五〇 数

マーツァ著一藏原・杉本共識



曾五十·月四年四和昭

(可認物便郵種三第)

破れた汚ない丸帽子はもう捨て

はれ、各座部の傾続は斯くして後 後に整派を置ると同時に各自部 第二注がれた。山田部長の投援に 響はに設神を置ると同時に各自部 は、各座部の傾続は斯くして後 後に整派をからえた千五百餘名の 一数家の順席機は、相當の頻集を一の前に立つ山田法學部長)よつて始めて試験された法學部第一際を現む。《貧質はマイクロフオン

新しい大阪生だけに替んなきちん と山田都長が云へば一同どよめく と山田都長が云へば一同どよめく つかひされ、 全く見られない。 際部から紳士あ して、数常には嫌疑の類などは

理 月一新することを信ずる。 いふ評をう はた人でも、この際所にはいればかい、 たいのがにないればない。 だんべき、この際所にはいれば面 ことを信ずる。

新入生に對し 各學部長の希望 山田法學部長談

市河農學部長談 貧面目に勉強

とを望む。

自由の學園を目指して

千六百餘の新入生

でいいと思ひます。 渡邊工學部長談 今村醫學部長談

石野理學部長談

3

紳士服 祝——御入學御進級 確實なる弊店へ御下命を!! 豊富、御用命は只今― 制服の御調度は最も

ナカジマヤ洋服店 本年度流行の新柄 電話 上三一六八番京都帝國大學病院東横

何卒御利用、御用命の 御指定になりました。 引續き本年も共濟部の 程を御願い致します。

大演奏會 商公衛第二國 三國 三國

長明、東京 杵屋佐吉、松島庄三郎

大日本竹道學館本部 京都市在東西南海湖湖 東都市在東西南海湖湖湖

中折帽子を! 色 さ 型 の--(全部一期引)

BAA 三四五、〇〇〇 二 帽北北

高尚で趣味的 清新な感じ

装には一

1/4 小 ili

Щ

Œ 光

幸古 洗 教授日 旅師寺正常終書頭水路 全然無經驗の人も直ぐ上達す(月謝三國) 尺八、二個より三百國マデ致任附提供

百萬過終點內一丁北人 **陰温器、寒暖計** 醫 院

洋化處藥 酒性方品 鑵品 詰各調全 類種劑般 家庭賣薬調合物能本位ノ 京都市內優良藥種商 東市電景野岸南南南南 出 遊奏通 町藥 局

港 大見洋服店

御入學には

御指定の丸二特製の

角帽を

乜

特製保護付限 レインコート 顔 顕客本位の絶對 明・モビロ 各 質 格 低 廉 凌駕の最高級レデーメード

m 三数数で講義することになったが なる今年は歌目らしいので、眼神 いったができます。

高校卒業生などを考

語物長總舊新

新舊總長の對照 ゴシツプマン荒木さんど 若々しく護嚴な新城さん

は、東京帝大のそれとゝもに日本

数室のやり繰りで

苦勞する法學部

方法を講じます、但し 必要ある場合にです) 必要ある場合にです) 申込んで下さい。

野生生舌こう: 方や集合其の他の手續きなど 野生生舌こう:

經濟集談會が組織された。其第一体態後更に動氏から研究談表あり

詳細な意見の閉陳があつた

◆締賃 四月廿五日正午。同日

今夏新教室工事に著手

ち扱いて、約五百名を容れる大数 る法學部第大講家との間の際をぶ

はだの城く聡うた のはたの城く聡うた 神品情格の引・ドロ がした。多数単生諸君は答 がでるます。多数単生諸君は答 がでるます。多数単生諸君は答

大長電景線を両利氏の米震多数 機の解演機能に関する調査整義 機の解演機能に関する調査整義 でに於ける乳牛飼器及び其数

手になります 考で居る次第

、又何なりと御杯談样

近におりて来たのである。しかしと、法におりて来たのである。しかしと、法におりて来たのである。しかしと、法に合っても続いまです。

音とつた杵づかで家外うまいの 有名なのは、何と云つても数留 有名なのは、何と云つても数留 をだ、それも今時の腰準かるた のではない。またした。

島瀬夫君は時代が時代だけた。北岳劉家の末孫とお任 太郎は文科におは、

とお狂しき北

被器()

をやります、腰高清一、

は、は野郷とならんで製門野らしいでは野郷とならんで製門野らしいで

イングのスピリットは却々旺盛

不一とはまとまりのなさょうな明にいるというない。

富士平、山内選不は何れも

に指り疑へやうとする計量であ

無限小から無限大へ

施拔二百片絵の洛東の絶景をあつ

◇資格 本學郷生一、 ◆人員 若干名、服務者多数あ

の山ついき花山と頭で

五月中に完成する

本學東山天體觀測所

東洋一の太陽分光寫真機

御希望の方々は左肥要項に從つて

部員募集

遠く來り集つた

斷農業經濟集談會

盛り澤山の研究發表後

学校 教育に就いての

懇親

會で貴衆兩院が廃んに論論した今職を関し、今職を持ちまた。

告

と教父一名(総政に動む象定)教 ・総稿なものであらう。総慶と ・とうである。 製計より云はば

は開催の目的として規定されてありまして規定されてあ

寄宿舍「誠天寮」設置 しい意義を見出すべく

人格の陶冶修養を圖る 生の經濟的困窮救濟と

|聯府際政||| 名 未決定)があ あたることにならう 故山本宣治氏 禁止さる

大学 (2000年 (2000年 (2000年) (20

活躍し、 祭く職計一新して職然に 見えて來たが、 総々四月十五日戦 とり多衆の御報たりし職性が監測。 せらる」のを職動に、 己の足らざ 報 がない、 としないのでは、 としている。

▲ 横っ 大谷部では今国消費 ・ 超音時間に多まれまります。ニュー ・ 報道機関たるコオポラチブ、ニュー

、全人配目!

園消息

なつてるる答案合「臓

五蔵・勿論食事共で比論設の特色・十七日総切である。第数一既以廿 番地二路家四町で祭集人員十名本

歴事に講師をせることがあつたので、 野家部有事及び概述者かになって。 この交渉にも加らす姿に開催の確 この交渉にも加らす姿に関係したがた としたがた 要がに驚いをせることがあつたの 要がに驚いをせることがあったの 去る三月五日山本代職士の兇死は 事務所のドアを 八文字に開

いて

★三田 昭和四年度早慶陸上

新入學生 諸

▲九大 法文會の領算委員會

東大、職大、職大、早大の各新聞

で事業を継続して来た東大のそれ 立郷二等の限を迎へた都断限友会 活動を開始したが訪ねると一受量た事終的のドアを八文字に開いて 翻太能玄奘突蓋り要編の地に占め共産部では新學師に入ると同時に 吾が共濟部活動を開始す 期の目的を達成するやりせられ

◇日時

イタリア語識習會

御 注 意 君

他部の妥協楽により解決した。 根部の妥協楽により解決したが 現語し部員総離任をせんとしたが ので、同部会員は総

手服。売町の

林洋服店

U

I

D

0

▲四高 女科三年甲類矢浪世

らまれてゐた所、最近腧示退恩かねて難能「廣場」の競行で、

つたので、同校ではよりく

去る十九日 部員特派

經濟學部で

入學取消

理由は判明せず

共に従来の型を破つて目費ましく管新聞部は昨年末より内容、監裁 東都大趣新聞を

職な ◆場所 文學部第十六数室 ◆科別 初等及中等 ◆科別 初等及中等

る心得害は入學後得更必要な 事が多いのですから、熟護、 御承知下さい、尚授崇料の額 は改正になり富二十國を三回 納附期に納めること 姿感をかけ、自分も意外な不 迷惑をかけ、自分も意外な不 財期に遅れることは、相手に 約消すべき顕務あるものは納

特能も利用し、先生にも親衣 特能も利用し、先生にも親衣 卒業生消息

士博學工

APD可氏よう場合を をPD可氏よう場合を をPD可氏ようるを をPD可氏な をPD可たな をPDDで をPD

學科







堂

者究研學科工。理

品需必。場工各

轉移築新 0

0

歌文 タイプライチング 経學部教科書 K 洋書籍と雑 直輸 誌

房書堂貴富 前門北新大帝

脚からはこの瓢蹊型を使用するに 窓は東壁十六郎の網長い製金とな るので、管螺製鋼などに概當の苦 もので、管螺製鋼などに概當の苦 が、この工事は恐らく今年の暑 中体暇中に行ほれる筈だから、後 學圖書閱覽表

運動棚 陸上競技部本年度 スケジュール

○四月二十一日(日) ①原理組織制 可能率制施制 が開発・経済の 今四月二十九日(日) ①東型建筑 を含う大変 今五月二十五、二十六日七七、日 を二回インターカレクザ甲子伯 今六月八日(日)第六/回野山の建筑 今七月二十七、二十八日七、日 の一月十六日(2) 夏明信品・万田 今九月二十十五日(2) 夏明信息・万田 の人月十六日(2) 夏明信息・万田 が入り下が日より夏明信息・万田 の人月十六日(2) 夏明信息・万田 の人月十六日(2) 夏明信息・万田 の人月十十六日(2) 夏明信息・万田 の人月十十六日(2) 夏明信息・万田 の人月十十六日(3) 夏明 の一月十十七日(京日)第六四郎等成 ・駅間が開発・「東京」第一次 の一月十七日(京日)第六四郎等成 ・駅間が開発・「東京」第一次 の場所が高いた。

リーグ決戦は 甲子園にきまる

四帝大野球部聯盟本年度定例委員 會は三日東大に於て開催、本學よ り曾垣、名倉、今井の各委員出席

純國產

品質舶來品に優る



デアルレインコートの御愛用を希ふな春着として、好評怒濤の如きアイ 遊洒なるスタイル、流行の先騙、軽快 陽 春

共濟部指定 帝大學會 します 靴の修繕は特に廉く注意を致 ●村上は、責任を持つてこしらへます ©村上は、責任を持つて思と質です 位つて堅と質です 村上特製の靴を ●村上は、自分の工場でこしらへます 御試し下さいました 一度是非御試し下さい 村上新三郎商 14 電 話 上 三一八番 宮田近衛町一中東横丁 電話四姉三八五九番 カー 店

スローブが崩線的だが、銃銃さん

し、あの財職な常けつよりは影水 さんも軽水繁観できぬ歌騒だ、し かし光さんと新練さんは難じ念 かしまさんと新練さんは難じ念 理の影響、科學の俗にこんな變でな光頭でなければならぬ、とから の新城總長も「アラキ」と語める がから云はれて見れば 成程今度

荒木時代につくられた立派な建 荒木時代につくられた立派な建 物の多いのに驚くが、其一つ一 つに荒木らの・手側が残されて あるのを聞く時、そんじよそこ

大學の橋内を一巡してみると、 にもない、今日十七萬坪の

の仕事には知々化學變化に富ん が地がブールに變つたり、乾燥 基がグラウンドに化けるあたり な、一寸簡單な方程式では繋け は、一寸簡單な方程式では繋げ

は日本の醫博とドイツのドクト てゐられる、だから、總長時代 売木さんの顔から急に笑が消え 所が某社の某君「先生も

ラキ」でなければならぬし、見事就大には迷傷がある、總長は「アー

電話ででも話せば、沿い人のやら **新城さんの時代けこれからだ、ど** 云つてクルリと後を向いて了つ

一間脱れのした学信物理學だ、東門は世家は評談ださりだが、東門は世 をうけて「あゝ、地上のことか」 シスのある天文階者は大革命の報 変員長で、見事な始球式をやら なす位である、中でも野球は有 れなもので、朝日の夏の大倉の 名なもので、朝日の夏の大倉の 名がは有 ーの多い總長だつた、そのゴシ荒木さんはニュース。ヴアリュ 游城さんに野球の話をきくと、

見ならざるものがある 無いこれです」

配出いことは、お二人とも支那県 無限大に飛躍したわけだ、だから、京大の總長は無限 専門から云へば、 京大の機長は無限小から

王覇の界子菓

一營直の永森

で、たさらだ、靴鱗さんも繋近支那壁。 だ せられた程の支那連だ、しかし、 だ として、靴鱗さんも繋近支那壁。 有づかしいもな響く」と感心され 新娘さんは、武器は平易に書くさ

ないが、「坂東三市は近郷だつたら三本 「百代館と即識へられさう」 本次は大総第、個と影響のいる名 はなったの息をつくと離すれげ なくないが、金をためるとでも解すれば くのでせら、飯田御子二はお父さ

1 又野一色神解と聞いちゃ色彩一方。 でもありますまい 称自幸雄に至っては、お話の限り 別枝鬼後、忠平茂登 過大型九は

告

永森 部野 電 停 前 型 馬洋服 店



キャンデーストアー

物賣安割物建地土

森

永

0

菓

子

٤

喫

一、場所

場所 二照會人事

第二部 中等佛語科——年間伊語科——年間伊語科—— 第七部 專門與術語科 工時一三時五〇分遊 第四部 佛脳西文學科 第三部 高等佛語料一二年 第五部 佛語頭音管話科 入學手續及詳細ハ學館事務所 大學汽格、滿十七歲以上/著 日時、水晴日上 第六部 古代

春季新學期開講 西日佛學館 電話上四次 目下募集中 七七番 へ同等と節 ハ同等ノ服

K

C

0

でなり、サース・ローの面別は、それが、他的な方面になるので、機関、400-00では、700-00回は、それが、他的な方面になるので、の他の関係なる観光だらい。如になった。100-00回になった。100

る。そのことが映畵批評の基準と映畵批評も亦その本質を同じくす 語の木質は功利性にある。 映 學 畵 藝術は民衆に属してゐるのだ 批 泰 評 棚 島

小石の如くスターを見楽で行く。 於てさへ壁遷した。そして大梁は 松之助は妻三郎にまでその技巧に

筋者にして、定債、銀行日 内、但し銀行三協月以内の 人、但し銀行三協月以内の が、担し銀行三協月以内の

殺人者である。 **競見したり、彼のシルタハツトの被女の愛すべきそばかすの存在を** にはただ大衆あるのみだ。從て映

久松潜一著

だんぜん不必要だ。たま大衆の心

と習ふ事を確實な客觀性を以て描

僧三闖八十続) 僧三闖八十続) 然し私は久松氏の近蒙に對して 新刊紹介

「上代日本文學の 研究」に於る方法論

映画が主頭的に批評される時間を 大衆に関してはその映画に對する 大衆に関してはその映画に對する 大衆に関してはその映画に對する に関してはその映画に對する に関してはその映画に対策を に関する

ある。しかし乳々は可能なること働き掛けねばならないのけ常然で

輓近宗教學説の研究

(京大學友會共濟部指定)

甲『ソレナラ之レヲ見給へ」 商人「イヤ、ソンナ事ハアリ

惡クテ困ルョ」

商人(顯微鏡ヲ覗キ見テ)「コレ

ハ不思議ダ、一體ドンナデッキグラスラ御

支那革命に於ける

官ふ然を特に高調しなければ料路

松原木工所デハ

松原木工 所

本 店 大阪市港區小林町一四二 黑 京都大學北門前

ある。少くとも吸ば節の中ではス スター本位と言は礼る映書を大衆 無数率がある。少くとも吸ば節の中ではス スター本位と言は礼る映書を大線 に 一般・ 原来は贈るのではない。 得 たらない。 映造像鏡は蘇端伸嶺に かっぱい かくと しゅうしゅう

たる獨立的意識を持ち來つた

るなれば或は特異な勘がある

映湖批評の對梁は大體以上に張き

れを以別するのはどうであらうか 示された時代が層度源になるわけ、 氏は片々が文原を受動に続いて添つ、に近いし、略しそれない。それ て同洋波な湯文動風観によってこ、等の粉酸が形式化され、不完全に て明洋波な湯文動風観によってこ、等の粉酸が形式化され、不完全に

ろごろしてゐる。から見て來ると「ここともう ***・ > 以下萬國の日和見主義勞傷黨にこ」る。そして人造人間は煥殺される

畵

×

非映畵的な批評― ロポリ

潮

俊

の社会外社(周月號) 社等及僧侶 の社会外社(周月號) 社等及僧侶 の社会外社(周月號) 社等及僧侶 がは、社会學の方法(レン・) がは簡素等の大語しき町(ロメシ) がは簡素等の大語しき町(ロメシ) がは、社会學の対しき町(ロメシ) 本の主義であった。 東京神田一ヶ橋、東京神田一ヶ橋九新 で、一ゲル論理學は休 の、一ゲル論理學は休 の、一ゲル論理學は保 の、一ゲル論理學は保 の、一ゲル論理學は保 の、一ゲル論理學は保

変化」その他 変化」その他 変の分析は特 の解析的分析 変の分析は特

工場設備概要 米各國デハ

甲『イヤー之レハ素敵ダ、ナル程此ノ顯微鏡

ニ用ヒ)試シニ之レヲ御覧ナサイ」

ハ上等ダネ

ラネ(干印硬質性デッキグラスラ其類微鏡

居ルノデス航客ニ對スル何ト云フ不忠置ナホデシヤウ之二反シ競争店が多イ籍値段ヲ低下スルト同時ニ品質ヲ下落シテ 榜ナポデ生活上大ナル補助ト利益ニナル事ト思ヒマス 一般・ できる (物) が できる (が) が できる (が 吾國デハ

及スライドグラス ハ全國到ル所ノ 機械店デ取 扱ッ テ居リマス

甲「ナル程、ソーカネ、解ツタヨ」 商人「尚念ノ爲申上グマスガ硬質性ハ絕對ニ 曇リノ來ナイコトヲ保證致シマスヨ、 又使 用スル顕微鏡二夫々適當二厚ミヲ一定シテ 御指定数サネバナリマセンヨ」 製作致シテアリマスカラ御往文ニへ厚ミラ 干印デツキグラマ

表 内 室 具 **安** 用 多 ◎本年度特價品 欧米家具トー テーブル・椅子・書棚一揃へ 金拾參圖參 一室内装飾は 拾

松原木工所

錢

印ノ品ハ海外諸國ニ廣ク輸出サレ而モ獨逸 印デ品質優良ナモノラオ使ヒナサイ、 檢シテ)イヤコレデヤ、ドンナ顯微鏡デモ 使用ニナッテ居マスカ、(デッキグラスラ點 デモ本品ヲ指定シテ使用致シテ居リマスカ 錢失ヒトハ此ノ事デスヨ」 ツチヤ顯微鏡屋ハ泣キマスヨ、安物買ヒノ グラスニハ種類ガ色々アルノデスヨ、ソレ デッキグラスガアルノデス、ソレデデッキ 駄目デスヨ、顕微鏡ニハ夫々適當ノ厚ミノ ニコンナ安物ノデッキグラスラ御使ヒニナ

東前停 電野熊市都 町太丸市都京 甲「ドウモ先日買ツタ此ノ郷 グラスラ御紹介申上ゲ 開スル實際ノデッキ 只今デッキグラスニ 徽鏡ハ相當値段ラ出シタガ

論家は藝術の様々な果實が社會の

れらは全然別個のものであつて、れらは全然別個のものであつて、それらは全然別個のものであるが、それらは全然の関節を持つことは、歴史的

上の工程等と 人はから開催状態を 人はから開催状態を として限な到境があります。 として限なのが高度状態が が開発として保護があるわれず、 をしたののなりない。 が開発としているが開催状態が があれたれた個利の回期対象が がは、このでは、 については、 のは、 については、 にいいて、 にいい、 にいいて、 にいいて、 にいいて、 にいいて、 にいい、

ロザの政治論集

造 製

At は 関連を確認の 間違す (本ので) 間に関する (本ので) であった (本ので) 関連的 (東京田) (東田) (東京田) (東田) (東京田) (東京田) (東京田) (東京田) (東京田) (東京田) (東京田) (東京田)

を御御 祝進入 級 Ш 京 部賣販 部造製

> 關機銳用 保病學 屋院校 薄板 ガラスー切え アッキ グラス 特製細罫ノート實習服診察衣 松浪グラス製造所製品 各學校制服 製造發賣元 京都代理店 屋